

平成29年度 板書計画（算数科）について

1 「授業スタンダードに沿った構成」を全学年で統一する

4/11

P4

1 課題

2 めあて（青線で囲む）

できるだけ児童のことばを使って書く。

見通し

- ・
- ・

3 考え方

① 自力解決

式や答えだけでなく、解き方や考え方もなるべく記述させる。

② 対話

友だちの考えを聴いて、参考になったことや気づいたことを書き加える。

③ 全体協議

共有したことを書き足す。

4 まとめ（赤線で囲む）

できるだけ児童のことばを使って書く。

5 適用問題

◎算数日記←「算数日記スタンダード」に沿って記入させ、毎回評価する。

## 2 「板書のデータ保存」について

### (1) 目的

- ・授業後に板書をデジカメで撮影し、画像データを保存していく。それらのデータを基に、校内研や学年・ブロック会で内容を検討することを通して、より効果的な板書になるようにする。
- ・板書を保存することを意識することで、日々の板書計画の改善につなげる。
- ・画像データを基に、ノート指導をより綿密に行えるようにする。
- ・初任者教員等若手教員の資質向上を図る。

### (2) 対象

- ・初任者、2年次教員・・・算数科の板書を、全単元・毎時間
  - ・それ以外の教員・・・中間発表会、公開校内研、全校研、ブロック研で扱う単元を毎時間
- ※算数科を担当しない教員は、理科や音楽で1単元分保存する。

### (2) 保存方法

○ランディスク→H29年度→H29 板書画像→学級

○画像データに「単元名、時数」をつけて保存。

例) 

図形の角・2 (時間目)
--------------

分数のかけ算・10
-----------

 等

## 3 「ノート指導実践交流」について

### (1) 目的

- ・ノート指導の成果と課題を全教員で共有する。
- ・6年生のモデルノートを参考に、各学年のゴールを明らかにする。
- ・今後のノート指導に関する取組について検討する。

### (2) 対象

- ・2～5年：4月に行った標準学力調査で算数の評定1の児童のノート
- ・1年：学力的に気になる児童のノート
- ・6年：モデルとなるノート

### (3) 実施日

- ・学期に1回以上、校内研の場で確保していく。